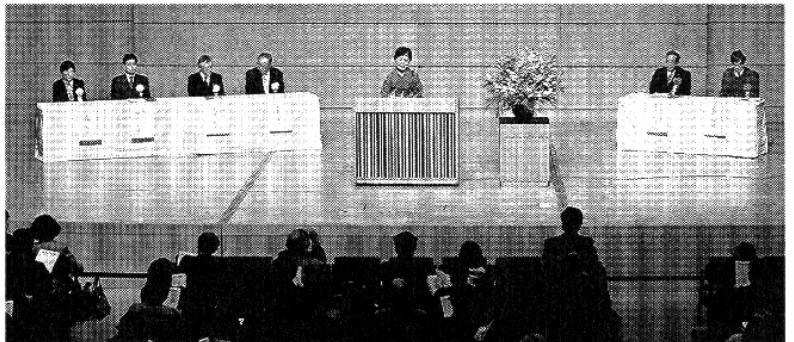


「脱レジ袋」県民一体で ぐみぜろ大会



レジ袋の削減などエコをテーマに開かれた「ぐみぜろ社会推進あいち県民大会」一名古屋市東区のテレビアホールで

ぐみぜろ社会推進あいち県民大会が八日、名古屋市中東区のテレビアホールで開かれ、約四百三十人が参加した。「脱レジ袋宣言」や環境を考える講演などがあり、循環型社会の構築に向け意識の高揚を図った。

県内のぐみのリサイクル率は年々上昇しているものの、排出量はほぼ横ばい。大会ではぐみを出さないための取り組みを考えた。

愛知消費者協会の若松利子会長が「買い物にはマイバッグを持って出かけ、不要なレジ袋を受け取らないようにしましょう」と「脱レジ袋宣言」を読み上げ、県民が一体となってレジ袋の削減に取り組む決意を示した。

環境ジャーナリストの村田伴寿子さんは「地球にやさしいエコライフ」と題して講演。レジ袋一枚につき約二十グラムの石油が使われているとし、「二〇一五年ごろには石油が買えなくなる。貴重

な資源を一滴たりとも無駄にはできない」と警鐘を鳴らした。その上で「レジ袋はいりませぬ」と言える勇気をもつことが大切。ほんの少しの行動で地球を変えられるんだと実感してほしい。

「と呼びかけた。簡易包装やマイバッグ持参運動に取り組む「ぐみぜろ推進優良店」三店の表彰のほか、行政や企業の代表者が参加したパネルディスカッションもあった。(平井良信)

写真の右から2人目が私です